

# ウイльтаと その隣人たち

サハリン・アムール・日本  
つながりのグラデーション



У й л ь т а и е г о с е д ы  
С а х а л и н . А м у р и Я п о н и я  
Г р а д а ц и я в з а и м о о т н о ш е н и и

2011.7.16【土】▶10.16【日】



開館時間 9:00-17:00 / 10月は9:30-16:30  
休館日 10月3日(月)、10月11日(火)

観覧料	特別展	常設展	セット割引
一般	450(300)円	450(360)円	700(660)円
65歳以上	300円	無料	—
高大生	150(120)円	150(120)円	240(240)円
( )内は10名以上の団体料金			

〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1  
(天都山・道立オホーツク公園)  
電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889  
<http://hoppohm.org>

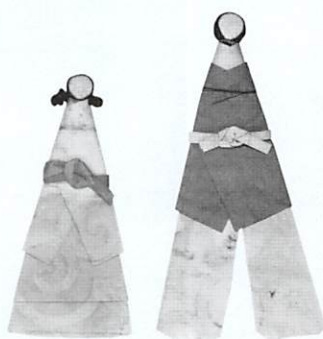
主催 北海道立北方民族博物館 (指定管理者 財団法人北方文化振興協会)  
協力 ウイльта刺繍サークルフレップ会 中村和之氏 津曲敏郎氏 山田祥子氏  
ビビコワ=エレナ (Bibikova Elena) 氏  
フェジャエワ=イリーナ (Fedjaeva Irina) 氏



北海道立北方民族博物館  
Hokkaido Museum of Northern Peoples

# ウイルタと その隣人たち

## サハリン・アムール・日本 つながりのグラデーション



人形/ウイルタ

サハリン島で暮らしてきたウイルタの文化と歴史を、周辺民族との関わりからの視点から、当館が所蔵する約120点の資料で紹介します。

ウイルタは人口がわずかな民族です。先祖は大陸から渡ってきたと考えられています。その後、採集、狩猟、漁撈とトナカイ飼育を行って暮らしてきました。

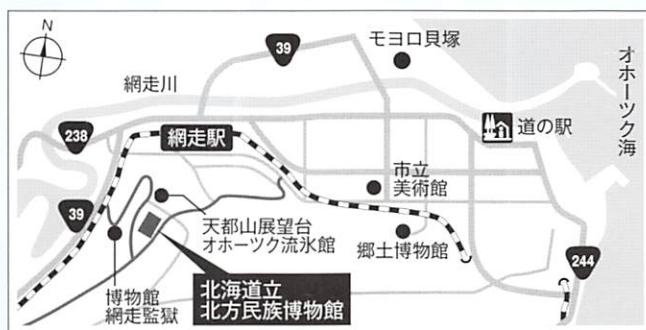
サハリン島にはウイルタの他に、樺太アイヌ、ニブフの人たちが暮らし、さらに対岸のアムール川流域には同じ系統の言葉話すツングースの諸民族がおり、ウイルタはこれらの人びとと関わりをもってきました。そのため文化要素の中にはこうした諸民族との共通性があります。

19世紀になって北からロシア人が、南から日本人がこの島に入ってくると、ウイルタの生活は大きく変化しますが、また一方で、独特の文化を保ち続けてもきました。ここには、ウイルタのたくましさ柔軟性をみることができます。

第二次世界大戦後は、日本に移住してきたウイルタもおり、特に網走との縁が深まってゆきました。



クマ送りに使った首飾り/ウイルタ

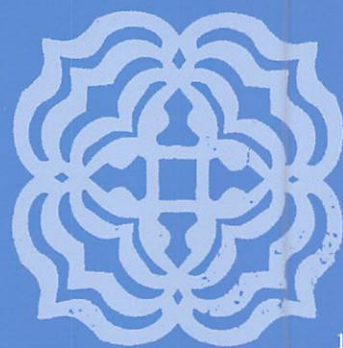


- 女満別空港から17km JR網走駅から約5km
- 網走バス市内観光施設めぐり線 駅から約15分
- 無料駐車場有り

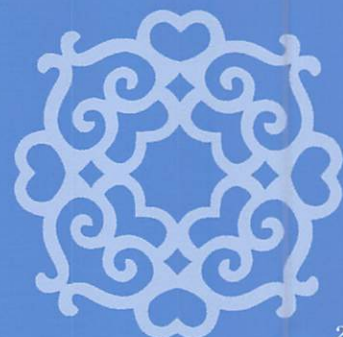
〒093-0042 北海道網走市字潮見 309-1  
(天都山・道立オホーツク公園)  
電話 0152-45-3888 FAX 0152-45-3889  
<http://hoppohm.org>



 **北海道立北方民族博物館**  
Hokkaido Museum of Northern Peoples



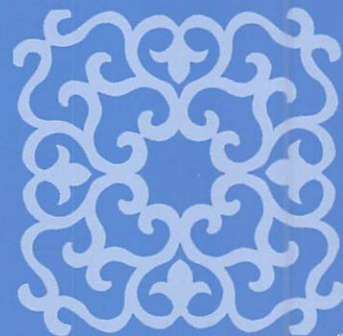
1



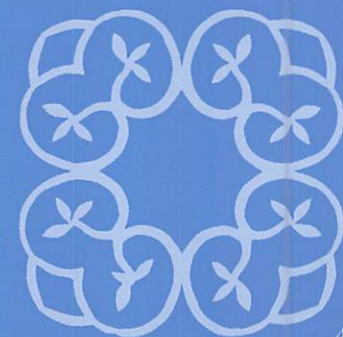
2

### 【会期中の関連事業】

- 講習会  
ウイルタのお人形「ホホー」づくり  
7.23 [土] 10:00-12:00
- 特別展解説講座  
7.24 [日] 10:00-11:30
- はくぶつかんクラブ  
北の文様でゆらゆら動くモビールをつくる  
7.30 [土] 10:00-12:00
- はくぶつかんクラブ  
革(かわ)でつくるミニトレー  
8.6 [土] 10:00-12:00
- 親子講習会  
ウイルタ文様のバッグづくり  
8.7 [日] 10:00-12:00
- 講習会  
ウイルタの手袋「マンバック」づくり  
8.20 [土] 10:00-12:00
- 講習会  
ウイルタの靴「ウッタ」づくり  
9.17 [土] 10:00-12:00



3



4